

区局連携事業 予算要求調書

【南区】 要求額総額 147,145 (千円) 【うち下水道事業会計 5,400(千円)】
 【うち水道事業会計 54,200(千円)】

事業名称	茶山台(旧)駐輪場整備事業 [茶山台1-4-3]
区長意見	過去、土木部所管の駐輪場であったが、泉ヶ丘市民センターとの一体的な活用を図るという意図から、平成24年初めに南区へ移管された。泉ヶ丘市民センターは慢性的に駐車スペースが不足していることから、駐車スペースとしての活用を検討したが、周辺道路との高低差があつて府施設付属道路にしか開口部が作れないことや、泉ヶ丘市民センターとの間を歩行者道が分断しているなど多数の問題があり、活用が困難であった。しかし、区局連携の会議を精力的に進めた結果、ある程度問題点の整理ができ、府の協力が得られる見通しも出てきたことから、駐車場としての活用の展望が開けつつある。南区が移管を受けたのは最近だが、駐輪場廃止からみればすでに6年も経過しており、このままでは市民からの批判も避けられないことから、早急な対応が必要と考えている。
1 事業所管局意見 (南区役所 企画総務課)	以前の市民駐輪場で、閉鎖されて6年以上活用されていない。 駐輪場であった時の鉄柵や管理員BOXも未撤去で、フェンスやロープで立入制限している。
事業概要	将来、駐車場民間貸付条件に用地内整備工事は含まれる可能性があるため、今回の要求は駐車場入口想定場所に接する自転車歩行者道路の工事費。フェンス一部撤去・車両乗上耐用強化舗装・段差解消に向けた準備工事を実施する。 現在、上記工事については関係機関及び各課と協議中であり、今後、詳細設計が必要になる為、設計委託を行う。 民間貸付条件に用地内整備工事は含まれない場合の用地内設計や重量耐用路盤調査委託を行う。 本来、工事案確定し、建築部や土木部の概算見積の上、予算要求するものだが、H24.12月からの庁内活用委員会(財政局・建築都市局・建設局も合同討議)案件ながら調整困難により工事案確定していないもの。ただし、工事案確定すれば、即応すべき内容であるため要求する。
事業費	4,545(千円)
事業名称	原山台3号線外舗装補修工事
区長意見	本道路は沿道に敷物団地をはじめ各種工場、事業所、商業施設などが密集し、産業の幹線道路としての役割を果たしている。このため、大型トラックをはじめ交通量も多く、路面の傷みが激しいが、開発以来、大規模な補修は行っていない。通行車両や歩行者の安全確保はもとより、事業者の利便や産業振興といった面からみても、補修を優先的に実施する必要があると考える。
事業所管局意見 (建設局 南部地域整備事務所)	NT内商業施設へ通じる主要幹線であるが、大規模な舗装補修は実施していない。舗装のめくれや、ひび割れ等劣化が著しく、近隣事業者や道路の利用者より補修要望も多く、通行車両の安全確保の観点からも早急な補修が必要である。
2 事業概要	本路線は、NT内商業施設へ通じる主要幹線であり、NT建設以来舗装の大規模な補修は実施していない。舗装のめくれや、ひび割れ等劣化が著しく、近隣事業者や道路の利用者より補修要望も多く、通行車両の安全確保の観点からも早急な補修が必要である。 平成24、25、26、27、28年度 5カ年計画 【平成26年度】舗装補修工 L=250m W=11.0m A=2,750㎡ 事業費 20,000千円 【平成27～28年度】舗装補修工 L=340m W=11.0～15.0m A=5,850㎡ 事業費 40,000千円 【平成25年度】舗装補修工 L=570m W=10.0m A=5,700㎡ 事業費 37,000千円 【平成24年度】舗装補修工 L=850m W=10.0m A=8,180㎡ 事業費 56,000千円
事業費	20,000(千円)

3	事業名称	泉北NT雨水樹修繕工事【下水道事業会計】
	区長意見	本事業は、泉北ニュータウン都市インフラの更新・若返り工事の一つとして、老朽化した重いコンクリート製の蓋を撤去し、軽いグレーチング蓋に交換するものである。これは、南区においては自治会などのボランティアによる美化活動が活発で、雨水樹の清掃においても住民の自主的清掃活動が期待できることから、それを後押しするためにも、取り外して掃除のしやすい形状に変更するものでもある。こういったことを通じて、住民自ら「街をきれいに」という意識を高めていただき、自治会活動の活性化にもつながると考えられることから、区局連携事業として有効な事業と考える。
	事業所管局意見 (上下水道局 竹城台下水道管理事務所)	本修繕工事は、主として道路雨水排水を受ける雨水樹のコンクリート蓋をグレーチング蓋へ交換を行うもので、交換により安全性及び耐久性の向上を図るものである。
	事業概要	南区赤坂台地区外について、雨水樹の蓋交換を行う。 @13,500円 * 400箇所 = 5,400千円 材料費、工事費込みの事業費
	事業費	5,400(千円)
4	事業名称	光明池地区センターNo. 5-2歩道橋補修工事
	区長意見	当該歩道橋は光明池駅前の幹線道路をまたぐ形で大規模商業施設群を貫いて鴨谷体育館へ抜けるものである。最近では、周辺に大規模集合住宅が次々と建設されており、歩行者が頻繁に利用するため交通量も多い。泉北ニュータウン建設当初からの設置で老朽化が著しく、年次計画の中で歩道橋全体を補修していく必要があると考える。
	事業所管局意見 (建設局 南部地域整備事務所)	当歩道橋は光明池駅前の商業施設から鴨谷体育館へ通じる歩道橋の一部で、建設以来40年以上が経過し老朽化も著しくなっており、市民からの補修要望が入っているとともに堺市歩道橋維持管理計画のなかでも補修の優先度の高い歩道橋となっている。
	事業概要	光明池駅前の商業施設から鴨谷体育館へ通じる歩道橋については平成24年度から順次補修を行っており、平成26年度は光明池地区センターNo. 5-2歩道橋の補修を予定している。(平成24年度No. 5-3歩道橋、平成25年度はNo. 5-4歩道橋)
	事業費	30,000(千円)
5	事業名称	鉛管対策を目的とした配水支管の更新工事【水道事業会計】
	区長意見	鉛製給水管は道路の配水支管から宅地のメーターまでを結ぶ管として、水道創設期から広く使われてきた。しかし、腐食による漏水が多いことや平成15年に鉛の水質基準が強化されたことから、現在、上下水道局では鉛製給水管の全面解消に取り組んでいる。泉北ニュータウンの水道施設は建設から40年以上が経過し、経年劣化対策として配水支管などの更新工事を進めているが、本事業は、その更新工事の際、これに接続する個人所有の鉛製給水管も合わせてポリエチレン管に交換することで、鉛管の解消を図るものである。このことから、区民にとっては、将来にわたって安全安心な水道をお使いいただけるうえ、市にとっても、配水支管の更新と鉛管解消を効率的に実施し、良質な水の供給に寄与できることから、本事業は区局連携事業として実施するのにふさわしいと考える。
	事業所管局意見 (上下水道局 配水計画課)	本事業は、鉛製給水管が多く接続されている配水支管(口径300mm以下の配水管)の更新時に併せて鉛製給水管をポリエチレン管に取り替えるものです。
	事業概要	桃山台3丁 工事延長 L=約 700m、鉛管解消件数 約70件
	事業費	54,200(千円)(舗装本復旧工事費除く)

事業名称	緑道の除草による安全確保について
区長意見	<p>泉北ニュータウンは他の地域と異なり、緑道が生活道路として設計された都市である。しかしながら、その総延長距離・面積が膨大なため、除草作業は他の区に比べて、回数を減らしていた。一方、区民の日常生活において緑道が快適に通行できることは、住民の満足度に直結する事柄であるうえ、近年、緑道周辺での犯罪が増加していることから、緑道周辺での犯罪防止協力について警察からも要望を受けている。このため、防犯上の観点からも、少なくとも他の区と同程度の頻度で除草作業を実施する必要があるものと考ええる。</p>
6 事業所管局意見 (建設局 公園緑地部 泉ヶ丘公園事務所)	<p>泉北ニュータウンの緑道は、駅前広場、公園、学校、近隣センターを相互に結んでおり、全長は約24km、幅は約10mで、約4mの園路の両側には高中低木が植栽され、散歩やジョギング等のレクリエーション利用だけでなく、生活道路として通勤・通学・買物等にも大いに利用されている。緑道の安全確保として、照明灯の増設及び改良を平成17年から6ヶ年計画で行い、また緑道内通路部の路面改修についても平成15年から順次行っている。しかしながら、通路部周辺の除草(草刈)は7月と11月の年2回しか行われておらず、南区以外の区では年3回行っていることもあり、区民からの苦情や要望も非常に多く、また景観上だけでなく防犯上も問題がある。</p>
事業概要	緑道における3回目の除草委託費を区局連携予算要求するものである。
事業費	33,000(千円)